



岡山県金融経済月報 (2022年10月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症と供給制約の影響が和らぐもとで、緩やかに回復している。

最終需要をみると、個人消費は、緩やかに増加している。設備投資は、増加している。住宅投資は、高めの水準で推移している。公共投資は、一部で弱めの動きがみられる。輸出は、名目ベースで増加している。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、緩やかに増加している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まり傾向が強まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、緩やかに増加している。

百貨店・スーパー売上高は、緩やかな増加基調にある。乗用車販売は、供給制約の影響から足踏み状態が続いている。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、回復している。

設備投資は、増加している。

9月短観調査における2022年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加計画となっている。

住宅投資は、高めの水準で推移している。

公共投資は、一部で弱めの動きがみられる。

輸出は、名目ベースで増加している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、緩やかに増加している。

業種	足もとの生産動向
自動車	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している。
鉄鋼	横ばい圏内の動きとなっている。
化学	高めの水準となっている。
石油・石炭	振れを均せば高めの水準となっている。
造船	持ち直している。
繊維	減少している。
電気機械	減少している。
窯業・土石	横ばい圏内の動きとなっている。
農機具	横ばい圏内の動きとなっている。
工作機械	振れを伴いつつも、回復している。

(3) 雇用・所得

労働需給は、引き締まり傾向が強まっており、雇用者所得は、緩やかに改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、2%台前半となっている。

(5) 倒産

8月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）をみると、倒産件数は前年と同数となったが、負債総額は前年を上回った。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利（総平均）は、緩やかな低下傾向にある。

以上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL086-227-5111(代表)
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るほど岡山はこちら！！



出典 広報誌にちぎん2014年秋号(表紙)通 北村公明氏